

ケースで学ぶ大学の危機対応

阿部 光伸（愛媛大学 教育・学生支援機構 講師）

講師略歴

専門は、産業組織心理学／産業教育論。私立大学の職員を経て平成25年10月から現職。現在は、大学生のキャリア形成支援、準正課教育（特に、ボランティア活動支援）と、他機関を含め大学職員の能力開発を担っている。

プログラム概要

この研修では、危機管理の基本を踏まえ、大学生の正課／正課外活動において実際に起こり得る危機事例を題材に、組織の一員として適切に判断・行動する力を養います。ケースでは、事故やトラブル、SNS 上での炎上、参加学生の体調不良、保護者対応など、大学が直面し得る課題を取り上げます。参加者は「クロスロード」の手法を用いて、正解のない状況の中で意思決定を行い、その判断がどのような二次被害や組織への影響につながるかを多面的に検討します。研修を通じて、危機発生時の初動対応や情報共有の重要性を理解するとともに、「個人対応」ではなく「組織対応」の視点から、被害の最小化と信頼の維持を図るための実践的な危機対応力を身に付けることを目指します。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

リスクマネジメント／クライシスマネジメントに興味ある教職員であればどなたでも。

到達目標

1. リスク発生時に、組織の一員として適切に行動することができる。
2. 危機発生時における初動／対応を説明できる。
3. 大学・学生・実習先の三者の視点を踏まえた、対応のあり方を検討できる。